

August 11, 2020

**【前日の為替概況】米 10 年債利回り上昇でドル堅調推移、対円 106.20 円、対ユーロ 1.1736 ドル**

10 日のニューヨーク外国為替市場でドル円は小幅ながら続伸。終値は 105.96 円と前営業日 NY 終値 (105.92 円) と比べて 4 銭程度のドル高水準。トランプ米大統領が追加の新型コロナウイルス経済対策を実施する大統領令に署名したことで全般ドル買いが先行し 106.20 円まで値を上げた。米 10 年債利回りの低下などが相場の重しとなり、105.71 円と日通し安値を更新した。もっとも、前週末 NY 時間安値の 105.56 円がサポートレベルとして意識されると下げ渋った。米 10 年債利回りが上昇に転じたことも相場の下支え要因となり、105.97 円付近まで持ち直した。

トランプ米大統領は 8 日、失業保険給付の上乗せ延長や一部を対象とした給与税の一時免除、家賃未払いに伴う立ち退き猶予の延長、学生ローン返済の減免措置に関する 4 つの大統領令に署名した。ただ、同大統領の行動により、新型コロナ追加経済対策を巡る野党民主党との協議は危うくなる可能性があるなど、実施に向け不透明感が残っている。ムニューシン財務長官は、「民主党の主張が合理的であれば、米政権と議会は今週中にも追加対策で合意できる」との見解を示している。

ユーロドルは続落。終値は 1.1738 ドルと前営業日 NY 終値 (1.1787 ドル) と比べて 0.0049 ドル程度のユーロ安水準。米長期金利が低下したタイミングでユーロ買い・ドル売りが入り 1.1792 ドル付近まで持ち直したものの、1.18 ドル台に乗せることは出来なかった。米長期金利が上昇に転じたほか、一部ユーロクロスの下落につれた売りが相場の重しとなり、1.1736 ドルと日通し安値を更新した。

米商品先物取引委員会 (CFTC) が前週末発表した 4 日時点の建玉報告によると、シカゴ・マーカンタイル取引所 (CME) の通貨先物市場で非商業部門 (投機筋) のユーロの対ドル持ち高は 18 万 648 枚の買い越しと過去最大になった。市場では「ユーロの反落を警戒する必要がある」との指摘があった。

ユーロ円も続落。終値は 124.38 円と前営業日 NY 終値 (124.85 円) と比べて 47 銭程度のユーロ安水準。NY の取引時間帯に入ると全般ユーロ売りが活発化し、4 時 30 分前に一時 124.34 円と日通し安値を付けた。

**【本日の東京為替見通し】米中対立関連や米コロナ追加対策協議関連のヘッドラインに要警戒か**

本日の東京外国為替市場のドル円は、お盆休みで本邦実需筋からの取引がない中で、米中対立激化に関連する報道や米コロナ追加対策協議に関する報道に要警戒となる。

米中対立激化に関しては、米中の総領事館閉鎖 (在ヒューストン総領事館と在成都総領事館) に続き、米中高官や当局者 11 人を対象とした制裁が打ち出されている。トランプ米政権は、国家安全保障を理由に、中国のティックトックとウィーチャットに関わる取引を禁止する大統領令に署名したことに続き、政治的弾圧を理由に、中国の高官や香港の林鄭月娥行政長官ら 11 人が米国内に保有する不動産や資産を凍結する制裁を科す、と表明した。中国は、報復措置として、米国の当局者や議員ら 11 人を対象に制裁を科す、と発表している。

また、アザー米厚生長官が、昨日、米国の閣僚や閣僚級としては 6 年ぶりに、1979 年に台湾と断交して以降、最高位の高官として台湾を訪問して、蔡英文台湾総統と会談を行ったことで、中国政府は報復を示唆している。米中対立が激化していった場合、中国が保有する米国債・株式の凍結懸念が高まることで、米国債・株式の売却の可能性に要警戒となる。

今週は、15 日を目途に、ライトハイザー米通商代表部 (USTR) 代表と劉鶴中国副首相が、米中第一段階通商合意の検証を行うが、新型コロナウイルスなどで、中国による米国産エネルギー・農産物の購入は目標に達していないことで、制裁措置の発動などに要警戒となる。

トランプ米大統領は、議会民主党との新型コロナウイルスの追加経済対策を巡る協議が合意に至らなかったことで、失業保険給付の上乗せ延長 (600 ドルから 400 ドルに減額)、一部を対象とした給与税の一時免除、家賃未払いに伴う立ち退き猶予の延長、学生ローン返済の減免措置に関する 4 つの大統領令に署名した。ムニューシン米財務長官は、引き続き民主党との協議を継続していく意向を示しているものの、関連ヘッドラインに要警戒となる。

ドル円の注文状況は、106.00 円に 13 日の NY カットオプションが控え、上値には 106.20 円にはドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、106.30-50 円にも断続的に売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、105.50 円、105.30 円、105.20 円、105.00 円にドル買いオーダーが控えている。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ◎ 6月国際収支速報
  - ◇ 経常収支（予想：季節調整前 1100 億円の黒字／季節調整済 1 兆 8 億円の黒字）
  - ◎ 貿易収支（予想：1100 億円の赤字）
- 14:00 ◇ 7月景気ウォッチャー調査（予想：現状判断指数 40.0／先行き判断指数 44.0）

## &lt;海外&gt;

- 08:01 ◇ 7月英小売連合（BRC）小売売上高調査
- 09:00 ◎ 4-6月期シンガポール国内総生産（GDP）確定値（予想：前期比年率▲42.9%）
- 10:30 ◇ 7月豪 NAB 企業景況感指数
- 15:00 ◎ 7月英雇用統計（予想：失業保険申請件数推移 1.00 万件／失業率なし）
- 15:00 ◎ 4-6月英失業率（ILO方式、予想：4.2%）
- 18:00 ◎ 8月独 ZEW 景況感指数（予想：55.0）
- 18:00 ◎ 8月ユーロ圏 ZEW 景況感指数
- 20:00 ◇ 6月メキシコ鉱工業生産（季調済、予想：前月比 17.1%）
- 21:00 ◎ 6月インド鉱工業生産（予想：前年同月比▲20.0%）
- 21:15 ◇ 7月カナダ住宅着工件数（予想：21.00 万件）
- 21:30 ◎ 7月米卸売物価指数（PPI、予想：前月比 0.3%／前年比▲0.7%）
  - ◎ 食品とエネルギーを除くコア指数（予想：前月比 0.1%／前年比横ばい）
- 24:00 ◎ バーキン米リッチモンド連銀総裁、討議に参加
- 12日 01:00 ◎ デイリー米サンフランシスコ連銀総裁、講演
- 12日 01:00 ☆ 4-6月期ロシア GDP 速報値（予想：前年比▲9.6%）
- 12日 02:00 ◎ 米財務省、3年債入札

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

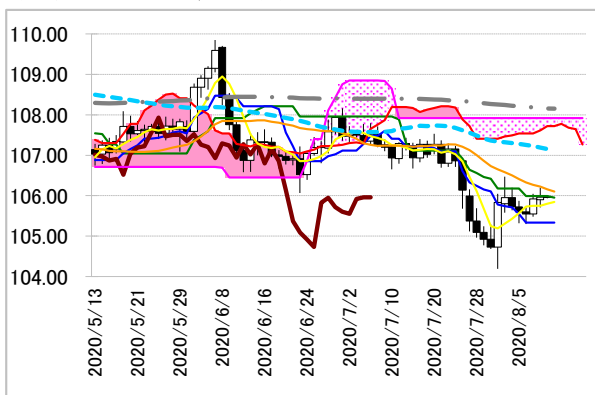
※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

- 10 日 09:21 トランプ米大統領  
「給与所得税の減税は恒久的であってもよい」
- 10 日 16:48 アザー米厚生長官  
「台湾訪問は、米国と台湾の強い友好関係を表している」
- 10 日 17:10 中国外務省  
「米国による香港・中国高官への制裁は国際法を大きく違反している」
- 10 日 21:46 英首相報道官  
「(香港の民主活動家)黎智英氏とその仲間の逮捕を非常に懸念している。言論の自由は共同声明のもとで保障されるべきこと」  
「逮捕は国家安全法が沈黙をさせるための口実に利用されている証拠」
- 10 日 22:29 ムニューシン米財務長官  
「交渉には妥協の余地がある」
- 11 日 00:47 ポンペオ米国務長官  
「(民主活動家の香港メディア王ジミー・ライ氏逮捕との報に)深く困惑」
- 11 日 02:13 エルドアン・トルコ大統領  
「政策金利のさらなる低下を望む」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

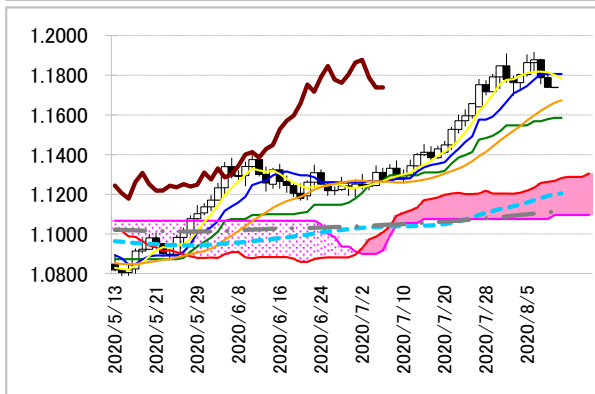


### <ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、2手連続陽線で転換線を上回っていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	106.47(8/3 高値)
前日終値	105.96
サポート 1	105.33(日足一目均衡表・転換線)
サポート 2	104.19(7/31 安値)

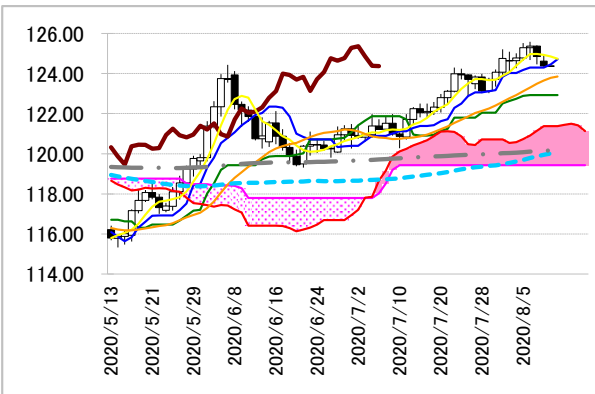


### <ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、三川宵の明星、2手連続陰線で転換線を下回り、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1806(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1738
サポート 1	1.1639(7/27 安値)

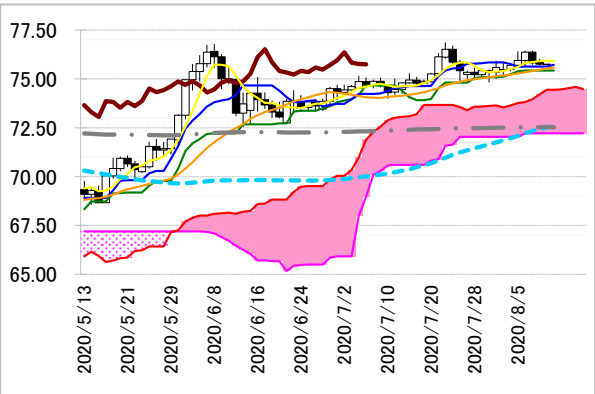


### <ユーロ円＝8/6 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、2手連続陰線で続落の可能性が示唆されている。

本日は、8月6日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	125.58(8/6 高値)
前日終値	124.38
サポート 1	122.93(日足一目均衡表・基準線)



### <豪ドル円＝8/7 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。均衡表は好転したままだが、2手連続陰線で反落しており、続落の可能性が示唆されている。

本日は、8月7日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	76.44(8/7 高値)
前日終値	75.75
サポート 1	74.45(日足一目均衡表・雲の上限)

